

<参考資料 1>

## 2008 年度 ノボ ノルディスク ファーマ インスリン研究助成 助成対象研究課題(50 音順)

### ■助成対象・研究課題

2008 年度の本研究助成の対象研究課題は以下の 12 件に決定しました。

#### 膵内分泌細胞における Rab27a エフェクターの機能

群馬大学生 体調節研究所 遺伝生化学分野 泉 哲郎 先生

#### 糖尿病における血中遊離インスリン受容体細胞外ドメイン増加の臨床的意義

徳島大学 疾患酵素学研究センター・シグナル伝達と糖尿病研究部門 蛭名 洋介 先生

#### インスリン分泌に関わる肝臓からの臓器間代謝連関機構

東北大学大学院 医学系研究科 片桐 秀樹 先生

#### 生活習慣病の鍵分子、アディポネクチン受容体の病態生理的意義解明

東京大学大学院 医学系研究科 糖尿病・代謝内科 門脇 孝 先生

#### 膵 $\beta$ 細胞機能維持における転写因子 PDX-1 の重要性

大阪大学大学院 医学系研究科 内分泌代謝内科 金藤 秀明 先生

#### 温熱・微弱電流同時印加による糖代謝改善効果の分子メカニズム解明

熊本大学大学院 医学薬学研究部 代謝内科学 近藤 龍也 先生

#### II 型ジアシルグリセロールキナーゼによるインスリン抵抗性・2 型糖尿病発症制御の分子機構

札幌医科大学 医学部 生化学第二講座 坂根 郁夫 先生

#### 視床下部インスリンとレプチンシグナルのリピッドホスファターゼによる制御が糖代謝と摂食に及ぼす影響の解明

富山大学大学院 医学薬学研究部 病態制御薬理学 笹岡 利安 先生

#### 糖代謝における DOC2b(double C2 domain protein 2b)の役割

山口大学大学院 医学系研究科 病態制御内科学 谷澤 幸生 先生

#### Multi-spec イメージング手法を用いたインスリン開口放出機構の解明

杏林大学 医学部 生化学 永松 信哉 先生

#### オートファジーによる膵 $\beta$ 細胞機能維持とその破綻による糖尿病発症の可能性

順天堂大学 内科学 代謝内分泌学 藤谷 与士夫 先生

#### グルコースの微小変動を感知可能な新規センサー分子の同定

千葉大学大学院 医学研究院 自律機能生理学 三木 隆司 先生

## ■審査委員(50音順)

2008年度の本研究助成の研究課題を審査いただいた審査委員は以下の通りです。

荒木 栄一 先生	熊本大学大学院医学薬学研究部代謝内科学
岩本 安彦 先生	東京女子医科大学 糖尿病センター
岡 芳知 先生	東北大学大学院医学系研究科 分子代謝病態学分野
加来 浩平 先生	川崎医科大学 内科学
河盛 隆造 先生	順天堂大学医学部 内科学
南條 輝志男 先生	和歌山県立医科大学 第一内科
羽田 勝計 先生	旭川医科大学 内科学講座 病態代謝内科学分野